

令和7年度農林水産技術会議結果概要

畜産技術センター

開催日	令和8年1月20日	開催場所	畜産技術センター(web併用)
部会名	研究課題設定部会		
評価課題	アニマルウェルフェアに配慮した飼養管理による採卵鶏の生産性向上に関する研究課題について		
評価委員	信州大学 教授 有限会社第二十六作業所 代表取締役 一般社団法人神奈川県畜産会 常務理事		
評価概要	○本課題は、生産性とアニマルウェルフェアの両立を科学的に検証する意義が高い。 ○今後の試験では、飼養面積の違いによる直接的な産卵成績の向上よりも、福祉特性の改善、敷料管理のしやすさ、汚卵・破卵の低減、生存率の改善といった現場実装性を重視した評価が重要。 ○福祉評価については、生理学的指標と行動学的指標を組み合わせた多面的評価が重要で、行動観察の導入や慢性的ストレスを反映する指標の活用を検討が望ましい。 ○生産現場の視点から、わずかな生産性指標の差が経営判断に直結すること、生存率がアニマルウェルフェアの成果を示す重要な指標である。 ○生産者の既存設備との整合性を踏まえた試験設計が必要である。 ○生産者が判断・導入しやすい現実的な管理指針を提示してほしい。 ○神奈川県の生産者は、生産効率よりブランドを重視している経営も多く、全国的な傾向と異なることを踏まえ、研究内容に特徴を出してほしい。 ○基礎的なデータを積み上げる本研究は重要であり、生産者が現実的に対応可能な選択肢を提示できるよう、研究成果の整理と普及を意識した検討が望まれる。		